

(令和3年1月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水 産 物 全 般	1月も、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う飲食店の営業自粛などの影響により、総入荷量は前年同月比で12%下回った。総取扱金額は、水産物全般で需要が低迷したことから前年同月比で21%下回った。 2月は、しらうおの入荷が始まる。しらうおは、2月から4月頃まで、産卵を控え河口に集まってくるため、漁獲量が増える。生食だけでなく、卵とじやお吸い物にしても大変美味しい。透き通る身は高鮮度の証である。時間が経つにつれ、白くなってしまうため、お買い求めの際は、より透明なものを選んでいただきたい。
鮮 魚	鮮魚の入荷量は前年同月比で18%下回ったが、単価は14%下回った。 品目別には、ふぐ、さわらの入荷量は前年同月を下回ったが、需要が低迷したことから単価は下回った。まだい（天然）の入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。
冷 凍 魚	冷凍魚の入荷量は前年同月比で7%下回ったが、単価は前年同月並みとなった。 品目別には、冷えびは入荷量、単価ともに前年同月並みとなった。冷さけの入荷量は前年同月並みとなったが、単価は下回った。
加 工 水 産 物	加工水産物の入荷量は前年同月比で4%下回ったが、単価は4%下回った。 品目別には、塩さば、塩紅さけの入荷量は前年同月を下回ったが、単価は需要が低迷したことから下回った。塩いわしの入荷量は前年同月を上回ったが、単価は原料が少なかったことから上回った。

※ 鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚) ま あ じ	三重，長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で３８％下回ったが，単価は需要が低迷したことから５％下回った。
ま い わ し	千葉，宮城で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で１３％下回ったが，単価は小型物主体の入荷であったことから２６％下回った。
さ ば	千葉で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で７７％上回り，単価は４％下回った。
す る め い か	富山，宮城，長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で２５％上回り，単価は７％下回った。
太 物	総入荷量は前年同月比で１８％下回ったが，単価は需要が低迷したことから１４％下回った。
よ こ わ	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で１１％上回り，単価は２５％下回った。
ぶ り	愛媛，鹿児島，長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で２５％下回ったが，単価は需要が低迷したことから７％下回った。

※ 太物：まぐろ，きはだ，めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月比 6 % 下回り，単価は 4 % 上回った。
冷 す る め い か	入荷量は前年同月比で 4 7 % 下回ったが，単価は生鮮するめ いかの順調な入荷が影響したことから 1 7 % 下回った。
(加工水産物)	
塩 さ け	入荷量は前年同月比で 3 % 上回り，単価は 1 0 % 下回った。
す け そ う こ	入荷量は前年同月比で 8 % 上回り，単価は 5 % 下回った。